

平成28年度 第2回二宮町防災会議 会議録

日 時 平成29年2月24日（金）10時00分から10時40分
場 所 二宮町役場庁舎2階 第1会議室
出席者 委員23名中22名出席（別紙出席者名簿のとおり）
傍聴者 2名

1 開会（事務局）

2 会長あいさつ

会長（町長）あいさつ
資料説明

3 議題

（1）二宮町地域防災計画の改定について

事務局より資料1・2・3・別途資料に沿って説明

質問等なし

（2）その他

（地域総合センター）県の取り組みについて

- ・県では年4回、横須賀、三浦、県央、湘南を4つの地域本部として対応する訓練を行っている
- ・常日頃から2時間以内に参集できる人員の確認を行っており、93人となっている
- ・参集できる人員とは別に、市町村への連絡員についても訓練をおこなっている。二宮町では、5人で今年度の訓練も参集はできたが、指導者がおらず自発的な活動ができるか課題となっている

（会長）

- ・訓練で出来ないものは本番でもできないので、色々なパターンを考えながら県など関係機関との連携が訓練の中でも必要である

（自衛隊）今年度自衛隊での活動などについて

- ・今年度、第4施設群の派遣はなかったが、災害は多く、2つの特色があった。
- ・余震が頻発し建物内での避難が心配であるため、車中泊が多かった
- ・政府がプッシュ型の支援として、水・食料・毛布等市のニーズがなくとも

送りつけるということを行ったが、熊本ではうまく捌けていなかった

- これを教訓に車中泊想定用の簡易トイレや、物資の運搬で地元の運送会社との協定を結ぶ自治体が増えている
- 平素からの訓練で自衛隊は図上訓練を頻繁に行っているので、町が図上訓練する際にはアドバイスができると思うので今後とも連携をお願いします

(会長)

- 車中泊に対する避難のあり方について町としても考えなければならない
- プッシュ型の物資についても、いかに早く末端の避難所に届けるか考えなければならない
- 図上訓練について色々と考えていかなければならないので自衛隊をはじめ、関係機関の皆様には今後ともご協力をお願いいたします

4 閉会

以上